



平成 30 年 10 月 29 日

各 位

会社名 オーウイル株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 小口英器  
(東証第二部 コード番号: 3143)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 青柳あゆみ  
( TEL. 03-5772-4488)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正、  
平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別業績と前年実績値との差異および  
平成 31 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 30 年 10 月 29 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 11 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想を修正することといたしました。また、個別業績と前年実績値においても差異が生じたので、それぞれお知らせいたします。

上記に加えて、平成 30 年 5 月 11 日に公表した平成 31 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,703	百万円 324	百万円 331	百万円 220	円 銭 70.00
今回修正予想 (B)	16,679	466	450	317	100.91
増減額 (B - A)	△24	142	119	97	—
増減率 (%)	△0.1	44.0	36.1	44.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	16,220	314	304	218	69.26

(差異の理由)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績につきましては、当社の卸売事業において、利益率の低いアイテムを見直し、飲料製品の一部の取引を終了したことから、売上高は当初予想を下回ったものの、食品副原料・乳製品・農産物加工品等の販売が好調に推移したことから、売上総利益率が上昇いたしました。また、物流費等のコスト削減に注力し、販売管理費が低く抑えられたことから、利益面において当初の業績予想を大きく上回ることになりました。加えて、製造販売事業においても、業務用バルクアイス及び新規受注の PB 商品の製造販売が好調に推移し、利益増に貢献いたしました。

2. 平成31年3月期第2四半期累計期間の個別業績と前年実績値との差異（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前期（平成30年3月期 第2四半期）実績値（A）	百万円 16,076	百万円 312	百万円 305	百万円 206	円 銭 65.67
当期（平成31年3月期 第2四半期）実績値（B）	16,388	439	424	289	91.96
増減額（B－A）	312	127	119	83	－
増減率（%）	1.9	40.6	39.1	40.0	－

（差異の理由）

卸売事業において、主力商品であるビタミンC等の食品副原料、生クリーム等の乳製品、野菜汁や果汁・ピューレ類等の農産物加工品の販売が好調に推移した結果、売上高、利益ともに前年実績値を上回りました。

3. 平成31年3月期通期連結業績予想の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 31,500	百万円 463	百万円 477	百万円 315	円 銭 100.01
今回修正予想（B）	31,500	591	582	400	126.99
増減額（B－A）	0	128	105	85	－
増減率（%）	0.0	27.6	22.0	27.0	－
（ご参考） 前期実績	31,033	439	461	300	95.29

（修正の理由）

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の連結業績が利益面において計画を上回って推移したことに加え、第3四半期以降の販売見込み及びコスト削減等を考慮し、上記の通り修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上